

平成 18 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況 (非連結)

平成 17 年 7 月 29 日

上場会社名 ソマール株式会社
(URL <http://www.somar.co.jp>)

(コード番号: 8152 東証第 2 部)

代 表 者 代表取締役社長 米森 政敏
問合せ先責任者 経理部長 渡部 泰栄

(TEL: (03) 3542-2152)

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ①会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
(内容)
・法人税等の計上基準……簡便な方法により計算しております。
- ②最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

2. 平成 18 年 3 月期第 1 四半期財務・業績の概況 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 6 月 30 日)

(1) 経営成績の進捗状況 (注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18 年 3 月期 第 1 四半期	9,161	3.6	370	172.5	373	167.1	360	150.7
17 年 3 月期 第 1 四半期	8,842	1.9	135	15.6	139	30.8	143	51.1
(参考) 17 年 3 月期	36,540	5.3	622	16.2	578	19.5	472	15.2

	1 株当たり 四半期(当期)純利益	潜在株式調整後 1 株当たり 四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
18 年 3 月期 第 1 四半期	18.44	—
17 年 3 月期 第 1 四半期	7.35	—
(参考) 17 年 3 月期	24.16	—

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 1 四半期のわが国経済は、原油価格高騰の長期化や原材料価格の上昇等が懸念されたものの、企業収益の改善や国内民間設備投資の増加などに牽引され緩やかな回復基調の中で推移いたしました。

このような情勢下、当社は高付加価値製品へ経営資源を投入し強靱な収益基盤を確立するため、ビジネス拡大とその強化、一層の生産性の向上、コスト削減等の諸施策を鋭意実施に努めた結果、当第 1 四半期における業績は、売上高は 91 億 6 千 1 百万円、営業利益は 3 億 7 千万円、経常利益は 3 億 7 千 3 百万円、当第 1 四半期純利益は 3 億 6 千万円となりました。

次に、営業の状況についてご説明申し上げます。

[仕入販売]

製紙用化学品 塗工用バインダーは、製紙業界の市況は横ばいで推移する中、一部の取扱品にシェアダウンがあったものの、販売価格の上昇により増収となりました。しかし、その他製紙用化学品については、一部商流の変更に伴い大幅な減収となり、全体では売上高は前年同期比 8.7%減の 22 億 3 千 1 百万円となりました。

電子材料 フレキシブルプリント基板材料は、その基板ベース材であるポリイミドフィルムの供給が安定してきたものの、前年度後半からの携帯電話、デジタルカメラ等の販売鈍化と在庫調整の影響により、需要が鈍化し減収となりました。リジッドプリント基板用の回路形成用ドライフィルムについても、前年度後半からの在庫調整の影響により、携帯電話向けの需要が鈍化し、減収となりました。全体では売上高は前年同期比 7.5%減の 25 億 1 千 5 百万円となりました。

機能性樹脂 熱可塑性樹脂は、付加価値重視による売上調整を実施したものの、自動車関連用途のエンブラ材料が引き続き堅調に推移したことから、増収となりました。また、熱硬化性樹脂は需要が回復基調であることや販売価格の上昇により増収となり、全体では売上高は前年同期比 3.3%増の 13 億 8 千 7 百万円となりました。

その他 印刷製版材料は、進行するデジタル化の影響により減収となりましたが、食品材料は、増粘安定剤の冷菓需要向けが好調に推移したことにより、大幅に増収となりました。全体では売上高は前年同期比 33.5%増の 5 億 3 千 2 百万円となりました。

[製造販売]

コーティング製品 高機能フィルムは、電子部品業界向け新製品の投入や、積極的な販売活動の結果、大幅な増収となりました。
画像用フィルムは、前年度後半からスタートした業務提携の効果もあり、増収となりました。
この結果、コーティング製品全体では売上高は前年同期比 30.3%増の 7 億 8 千 2 百万円となりました。

高機能樹脂製品 電気絶縁用樹脂は、自動車電装品向けが引き続き堅調に推移し、また、液晶関連ビジネスが伸びたことにより、全体では売上高は前年同期比 15.8%増の 9 億 6 千 8 百万円となりました。

ファインケミカルズ 前年度後半からの新規開発製品の販売が寄与したことにより、全体では売上高は前年同期比 22.3%増の 2 億 9 千 1 百万円となりました。

その他 電子部品業界向けフレキシブルプリント基板材料は、積極的な販売活動の結果、輸出向けが堅調に推移したことに加え、生産設備の改良による加工能力の向上により大幅な増収となりました。全体では売上高は前年同期比 72.6%増の 4 億 5 千 2 百万円となりました。

(2) 財政状態の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期 第1四半期	25,094	15,060	60.1	771.34
17年3月期 第1四半期	23,908	14,545	60.8	744.26
(参考) 17年3月期	24,625	14,781	60.0	756.93

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年3月期 第1四半期	△ 185	△ 74	△ 101	1,323
17年3月期 第1四半期	△ 612	△ 380	△ 116	789
(参考) 17年3月期	557	△ 719	△ 52	1,683

[財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期における現金及び現金同等物は前期末に比べて3億6千万円減少し、13億2千3百万円となりました。なお、各項目の増減は、以下のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、1億8千5百万円の資金の減少となりました。その主な要因は、税引前四半期純利益が3億6千6百万円となり、減価償却費を1億1千3百万円計上したものの、売上債権が6億9百万円増加したことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、7千4百万円の資金の減少となりました。その主な要因は、投資有価証券の取得に5千8百万円を支出したことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、1億1百万円の資金の減少となりました。その主な要因は、配当金の支払額8千7百万円であります。

3. 平成18年3月期の中間期業績予想（平成17年4月1日～平成17年9月30日）

	売上高	経常利益	当期純利益
中間期	百万円 18,000	百万円 450	百万円 400

[業績予想に関する定性的情報等]

上記予想値は平成17年5月13日発表の業績予想を変更しております。なお、変更内容につきましては別途、発表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、平成18年3月期通期（平成17年4月1日～平成18年3月31日）の業績予想につきましては、現段階で下半期の事業環境を見極めることが困難なことから、現時点での通期業績予想の見直しは行なっておりません。今後の動向に応じて、業績予想に変更が生じた場合は速やかに開示することといたします。

※上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

[添付資料]

・四半期財務諸表等

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別 平成18年3月期 第1四半期末	前年同四半期 平成17年3月期 第1四半期末	増減		(参考) 平成17年3月期
			金額	増減率	金額
(資産の部)				%	
流動資産					
現金及び預金	1,323	789	533		1,683
受取手形	556	676	△120		556
売掛金	11,809	10,855	954		11,198
たな卸資産	2,270	1,807	463		2,140
繰延税金資産	190	190	—		190
その他	156	551	△394		122
貸倒引当金	△38	△65	26		△45
流動資産合計	16,266	14,805	1,461	9.9	15,846
固定資産					
有形固定資産					
建物	1,905	2,036	△131		1,903
機械及び装置	935	1,195	△259		987
土地	406	420	△13		406
その他	271	270	0		252
有形固定資産合計	3,518	3,922	△403	△10.3	3,550
無形固定資産					
ソフトウェア	28	45	△17		32
その他	5	7	△1		5
無形固定資産合計	33	53	△19	△35.9	38
投資その他の資産					
投資有価証券	3,702	3,595	106		3,613
長期貸付金	0	0	—		0
差入保証金	1,486	1,438	48		1,487
その他	174	177	△2		181
貸倒引当金	△89	△85	△4		△93
投資その他の資産合計	5,275	5,127	148	2.9	5,189
固定資産合計	8,827	9,102	△274	△3.0	8,778
資産合計	25,094	23,908	1,186	5.0	24,625

(単位：百万円)

期 別 科 目	当 四 半 期 平成 18 年 3 月期 第 1 四 半 期 末	前 年 同 四 半 期 平成 17 年 3 月期 第 1 四 半 期 末	増 減		(参考) 平成 17 年 3 月期
	金 額	金 額	金額	増減率	金 額
(負債の部)				%	
流動負債					
支払手形	646	559	87		590
買掛金	5,814	5,460	354		5,773
短期借入金	750	185	565		550
未払金	523	502	21		374
未払法人税等	14	13	0		57
賞与引当金	79	73	6		159
設備関係支払手形	31	33	△ 2		4
その他の	53	66	△ 12		11
流動負債合計	7,914	6,894	1,019	14.8	7,521
固定負債					
長期借入金	725	1,125	△ 400		937
退職給付引当金	691	667	24		695
役員退職慰労引当金	110	95	14		108
繰延税金負債	583	570	13		571
その他の	9	9	0		9
固定負債合計	2,120	2,468	△ 348	△14.1	2,322
負債合計	10,034	9,362	671	7.2	9,843
(資本の部)					
資本金	5,115	5,115	—		5,115
資本剰余金					
資本準備金	4,886	4,886	—		4,886
利益剰余金					
1.利益準備金	419	419	—		419
2.任意積立金					
(1)圧縮記帳積立金	—	8	△ 8		8
(2)別途積立金	2,100	2,100	—		2,100
3.四半期(当期)未処分利益	1,579	1,077	501		1,308
利益剰余金合計	4,099	3,605	493	13.7	3,836
その他有価証券評価差額金	974	946	28	3.0	956
自己株式	△ 14	△ 7	△ 6	82.6	△ 13
資本合計	15,060	14,545	514	3.5	14,781
負債・資本合計	25,094	23,908	1,186	5.0	24,625

(2) 四半期損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	当 四 半 期	前 年 同 四 半 期	増 減		(参考)
		平成 18 年 3 月 期 第 1 四 半 期	平成 17 年 3 月 期 第 1 四 半 期	金 額	増 減 率	平成 17 年 3 月 期
		金 額	金 額	金 額	%	金 額
売 上 高		9,161	8,842	319	3.6	36,540
売 上 原 価		8,026	7,921	104	1.3	32,807
売 上 総 利 益		1,135	921	214	23.2	3,733
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		764	785	△ 20	△ 2.6	3,111
営 業 利 益		370	135	234	172.5	622
営 業 外 収 益						
受 取 利 息		0	0	0		0
受 取 配 当 金		12	10	1		16
そ の 他		5	7	△ 2		22
計		17	17	△ 0	△ 0.6	39
営 業 外 費 用						
支 払 利 息		6	6	0		25
手 形 売 却 損		2	3	△ 0		11
そ の 他		5	4	0		46
計		14	13	0	4.4	83
経 常 利 益		373	139	233	167.1	578
特 別 利 益						
貸 倒 引 当 金 戻 入 額		9	11	△ 2		24
そ の 他		—	0	△ 0		38
計		9	12	△ 3	△ 27.5	63
特 別 損 失						
固 定 資 産 売 却 損		—	—	—		6
固 定 資 産 除 却 損		16	3	13		43
投 資 有 価 証 券 評 価 損		—	—	—		99
そ の 他		0	—	0		1
計		16	3	13	458.6	152
税 引 前 四 半 期 (当 期) 純 利 益		366	149	216	144.7	489
法 人 税 等		6	6	—	—	17
四 半 期 (当 期) 純 利 益		360	143	216	150.7	472
前 期 繰 越 利 益		1,219	934	285		934
中 間 配 当 額		—	—	—		97
四 半 期 (当 期) 未 処 分 利 益		1,579	1,077	501		1,308

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当 四 半 期	前 年 同 四 半 期	(参 考)
	平成 18 年 3 月 期 第 1 四 半 期	平成 17 年 3 月 期 第 1 四 半 期	平成 17 年 3 月 期
	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前四半期(当期)純利益	366	149	489
減価償却費	113	134	556
貸倒引当金の減少額	△ 8	△ 11	△ 22
退職給付引当金の増減額(減少:△)	△ 4	8	36
役員退職慰労引当金の増減額(減少:△)	1	△ 75	△ 62
受取利息及び受取配当金	△ 12	△ 10	△ 16
支払利息	6	6	25
固定資産売却益	—	—	△ 38
固定資産売却損	—	—	6
固定資産除却損	16	3	43
投資有価証券評価損	—	—	99
売上債権の増加額	△ 609	△ 495	△ 718
たな卸資産の増加額	△ 130	△ 65	△ 398
仕入債務の増減額(減少:△)	96	△ 150	194
未払(未収)消費税等の増減額(減少:△)	45	△ 56	△ 94
その他の	△ 50	△ 27	494
小 計	△ 169	△ 590	594
利息及び配当金の受取額	12	10	16
利息の支払額	△ 4	△ 6	△ 29
法人税等の支払額	△ 23	△ 25	△ 25
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 185	△ 612	557
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△ 2	△ 60	△ 309
有形固定資産の売却による収入	—	—	15
有形固定資産の除却による支出	△ 16	△ 0	△ 4
無形固定資産の取得による支出	—	△ 0	△ 0
無形固定資産の売却による収入	—	—	0
投資有価証券の取得による支出	△ 58	△ 318	△ 420
投資有価証券の売却による収入	0	4	5
その他の	2	△ 5	△ 5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 74	△ 380	△ 719
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
長期借入金の返済による支出	△ 12	△ 29	△ 201
長期借入れによる収入	—	—	350
自己株式取得による支出	△ 1	△ 0	△ 5
配当金の支払額	△ 87	△ 87	△ 194
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 101	△ 116	△ 52
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	0	2	0
V 現金及び現金同等物の増減額	△ 360	△ 1,108	△ 214
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,683	1,897	1,897
VII 現金及び現金同等物の期末残高	1,323	789	1,683

・比較品目別売上明細表

(単位：百万円)

品 目		当 四 半 期 平成 18 年 3 月期 第 1 四半期		前年同四半期 平成 17 年 3 月期 第 1 四半期		(参 考) 平成 17 年 3 月期	
		金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
仕 入 販 売			%		%		%
	製紙用化学品	2,231	24.4	2,444	27.6	10,498	28.7
	電子材料	2,515	27.5	2,719	30.8	10,765	29.5
	機能性樹脂	1,387	15.1	1,342	15.2	5,489	15.0
	その他	532	5.8	399	4.5	1,650	4.5
	仕入販売 計	6,666	72.8	6,905	78.1	28,404	77.7
製 造 販 売	コーティング製品	782	8.5	600	6.8	2,622	7.2
	高機能樹脂製品	968	10.6	836	9.4	3,440	9.4
	ファインケミカルズ	291	3.2	238	2.7	1,001	2.8
	その他	452	4.9	262	3.0	1,071	2.9
		製造販売 計	2,495	27.2	1,937	21.9	8,136
合 計		9,161	100.0	8,842	100.0	36,540	100.0